



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2499 URL <https://www.wasou.com/profile/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道面 義雄
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 鶴野 尚史 TEL 03-5843-0097
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 2023年9月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無（2023年8月17日に当社ウェブサイトにおいて決算説明の動画配信を予定）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,209	△7.6	125	△46.6	107	△53.4	75	△41.1
2022年12月期第2四半期	2,391	—	235	62.2	230	50.5	128	25.0

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 87百万円 (△39.2%) 2022年12月期第2四半期 143百万円 (35.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	8.35	—
2022年12月期第2四半期	14.18	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
 2. 2022年12月期第2四半期の売上高については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用した影響により、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	8,803	3,421	38.9
2022年12月期	8,803	3,397	38.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 3,421百万円 2022年12月期 3,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	3.00	3.00	3.00	4.00	13.00
2023年12月期	3.00	3.00			
2023年12月期（予想）			3.00	5.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有
 配当予想の修正については、本日（2023年8月14日）公表いたしました「期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,770 ～4,870	0.0 ～2.1	420 ～472	0.1 ～12.6	392 ～440	0.0 ～12.2	236 ～270	0.0 ～14.1	26.11 ～29.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	9,134,000株	2022年12月期	9,134,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	68,400株	2022年12月期	68,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	9,065,600株	2022年12月期2Q	9,065,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束しつつある中、人流及びインバウンドの増加により社会経済活動の正常化が徐々に進み、緩やかな回復傾向が見られています。しかしながら、不安定な国際情勢の長期化、エネルギー価格や原材料価格の高騰、世界的に進む政策金利の見直しによる金融資本市場の変動リスク等があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社においては、2023年春のきもの着付け教室の新規申込み数が前年比135%と好調に推移いたしました。一方で、教室の継続率や卒業生を対象とした販売イベントの集客数は前年同様一定数を保っているものの、前期に続きお客様の消費マインドの回復が見られず、減収減益となりました。

イベント等においては、今期より初めての試みとして、完全新規受講生を対象とした夏の着付け教室を開催しております。ご応募いただいた先着350名に浴衣のプレゼント特典をご用意し、浴衣の着付けもカリキュラムに組み込んだことが功を奏し、募集開始以降申込み数は順調に増加いたしました。新規顧客から既存顧客へ、既存顧客からのロイヤルカスタマー化を目指し、今後も新しい取組みに注力してまいります。8月には毎年帝国ホテル東京にて開催している「きものブリリアンツ全国大会」への出場権をかけた「きものブリリアンツ地区大会」が全国18会場で行われ、多くのお客様に足を運んでいただきました。その他にも、5月中旬から6月中旬まで全国16か所で「縁の会」、6月上旬には東京で日本最大級のきもの祭典として「遊々会」を開催いたしました。「遊々会」は、恵比寿ザ・ガーデンホールにて、6日間で約700名にご来場いただき、「つなぐ」をテーマに、時代や文化・技術をつなぎ、産地とお客様をつなぐイベントとして好評を博しました。今後は、VIPを対象としたイベントも立案しており、休眠顧客の潜在ニーズを察知するとともに、再活性化するための施策にも取り組んでまいります。

また、「和の総合サイト」をコンセプトにしたECサイトを今秋のリリースに向けて準備を進めております。従来のオフライン販売方式からオンライン販売チャネルを構築し、これまで当社グループが手掛けてこなかった浴衣や洗えるきもの、帯など手軽な和装品や工芸品などのカテゴリーへの参入を計画しており、未開拓だった20代から40代の若・中年層をターゲットとして市場や新規顧客を開拓し、顧客基盤の拡大へとつなげてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高2,209百万円（前年同四半期比7.6%減）、営業利益125百万円（前年同四半期比46.6%減）、経常利益107百万円（前年同四半期比53.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益75百万円（前年同四半期比41.1%減）となりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は8,440百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。これは主に割賦売掛金が398百万円及び営業未収入金が25百万円増加した一方で、現金及び預金が422百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は363百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が6百万円増加した一方で、有形固定資産が5百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、8,803百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,533百万円となり、前連結会計年度末に比べ266百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が178百万円、契約負債が43百万円、営業未払金が19百万円及び営業預り金が16百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,848百万円となり、前連結会計年度末に比べ289百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が291百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、5,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,421百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益が75百万円、剰余金の配当が63百万円及び為替換算調整勘定が7百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.9%（前連結会計年度末は38.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,167百万円(前年同四半期は2,425百万円)となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は240百万円(前年同四半期は42百万円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益104百万円、割賦売掛金の増加398百万円及び契約負債の増加43百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は8百万円(前年同四半期は24百万円の使用)となりました。これは主に敷金及び保証金の差入による支出5百万円、有形固定資産の取得による支出3百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は176百万円(前年同四半期は174百万円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1,112百万円、配当金の支払額63百万円、長期借入れによる収入650百万円及び短期借入金の純増加額350百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期連結業績予想につきましては、2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,809,453	2,386,751
営業未収入金	157,875	183,693
割賦売掛金	4,958,211	5,356,522
棚卸資産	113,262	108,160
その他	474,242	484,167
貸倒引当金	△71,182	△78,535
流動資産合計	8,441,862	8,440,759
固定資産		
有形固定資産	144,432	138,966
無形固定資産	13,558	14,170
投資その他の資産	203,694	210,082
固定資産合計	361,685	363,219
資産合計	8,803,548	8,803,979
負債の部		
流動負債		
営業未払金	31,653	50,980
短期借入金	2,384,778	2,563,764
未払法人税等	48,955	53,415
契約負債	315,605	359,536
営業預り金	18,367	35,046
その他	467,851	470,650
流動負債合計	3,267,213	3,533,393
固定負債		
長期借入金	2,129,314	1,837,758
関係会社事業損失引当金	3,098	5,046
その他	6,159	6,000
固定負債合計	2,138,571	1,848,804
負債合計	5,405,784	5,382,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,198	478,198
資本剰余金	292,211	292,211
利益剰余金	2,638,521	2,650,798
自己株式	△22,629	△22,629
株主資本合計	3,386,302	3,398,579
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△3,180	1,023
為替換算調整勘定	14,642	22,179
その他の包括利益累計額合計	11,461	23,202
純資産合計	3,397,763	3,421,781
負債純資産合計	8,803,548	8,803,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,391,554	2,209,180
売上原価	189,137	197,351
売上総利益	2,202,417	2,011,829
販売費及び一般管理費	1,967,367	1,886,319
営業利益	235,049	125,510
営業外収益		
受取利息	460	917
助成金収入	6,356	2,009
為替差益	7,180	—
固定資産売却益	—	1,345
その他	788	480
営業外収益合計	14,786	4,753
営業外費用		
支払利息	12,732	12,666
支払手数料	6,329	7,140
その他	256	2,932
営業外費用合計	19,318	22,739
経常利益	230,517	107,524
特別損失		
関係会社事業損失引当金繰入額	—	3,416
特別損失合計	—	3,416
税金等調整前四半期純利益	230,517	104,107
法人税、住民税及び事業税	69,493	43,351
法人税等調整額	32,462	△14,980
法人税等合計	101,955	28,371
四半期純利益	128,561	75,736
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,561	75,736

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	128,561	75,736
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	4,203
為替換算調整勘定	15,312	7,537
その他の包括利益合計	15,312	11,741
四半期包括利益	143,874	87,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,874	87,477

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	230,517	104,107
減価償却費	15,947	11,984
固定資産売却益	—	△1,345
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,624	7,353
関係会社事業損失引当金の増減額 (△は減少)	—	1,948
受取利息	△460	△917
支払利息	12,732	12,666
助成金収入	△6,356	△2,009
営業未収入金の増減額 (△は増加)	△35,340	△23,963
割賦売掛金の増減額 (△は増加)	△27,404	△398,311
棚卸資産の増減額 (△は増加)	12,722	5,486
営業未払金の増減額 (△は減少)	10,378	19,168
契約負債の増減額 (△は減少)	△17,146	43,930
営業預り金の増減額 (△は減少)	29,507	16,678
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	△9,968	9,313
その他	△109,535	△3,347
小計	111,217	△197,257
利息の受取額	460	379
利息の支払額	△13,091	△12,934
助成金の受取額	4,148	4,155
法人税等の支払額	△145,370	△34,972
営業活動によるキャッシュ・フロー	△42,634	△240,630
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,834	—
有形固定資産の取得による支出	△3,469	△3,865
有形固定資産の売却による収入	—	1,345
無形固定資産の取得による支出	△9,550	△1,643
ゴルフ会員権の取得による支出	△4,665	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,549	△5,882
敷金及び保証金の回収による収入	807	1,852
その他	△137	△188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,398	△8,381
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△45,000	350,000
長期借入れによる収入	1,500,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△1,538,984	△1,112,570
配当金の支払額	△90,656	△63,459
その他	△222	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174,862	△176,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,417	△111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△234,478	△425,223
現金及び現金同等物の期首残高	2,660,274	2,592,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,425,796	2,167,160

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。